気候変動と経済的不平等に関する子どもアンケート

調査結果

2022年 9月 16日

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン　アドボカシー部

Save the Children

【概要】気候変動と経済的不平等に関する子どもアンケート

調査背景

- ✓ セーブ・ザ・チルドレンによるグローバルキャンペーン「Generation Hope」展開の一環として、15～18歳の子どもを対象に、気候変動と経済的不平等に関する子どもたちの考え、意見を聴く。
- ✓ 日本で実施されたアンケートは、約30ヶ国の子どもたちの声（アンケート、ヒアリング）とともに、セーブ・ザ・チルドレンが10月に発行する報告書にて取りまとめられる。

調査対象	日本に在住する15歳～18歳の子ども
回収期間	2022年7月25日～27日
有効回答数	1,085人
調査地域	47都道府県
調査方法	インターネット調査ツール「QiQUMO」提携先会員の15歳～18歳の子どもによる任意回答
実施主体	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
実施協力	株式会社クロス・マーケティング

※回答結果の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

【質問一覧】 気候変動と経済的不平等に関する子どもアンケート調査

※属性を除く質問

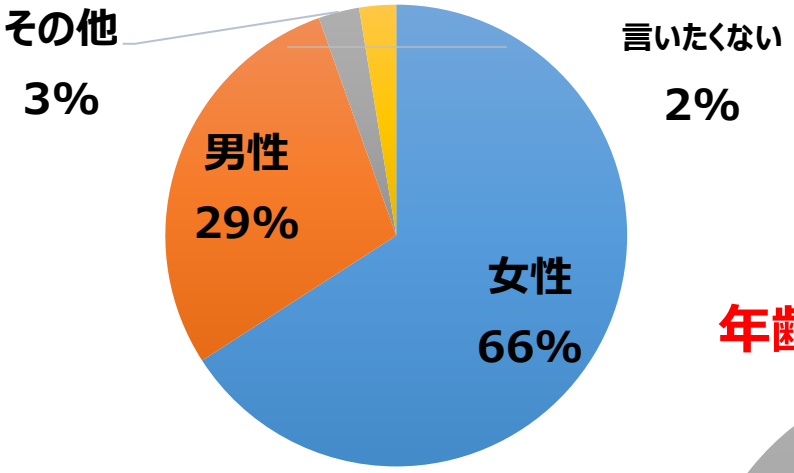
- 気候変動や経済的不平等があなたのまわりや国内の状況に影響を与えていると感じますか？
- あなたの周りでは、以下の状況(気候・天候など）はどのように変化していると感じますか？
- 日本において、以下の組織（政府など）や大人たちは、気候変動や経済的不平等に対して十分な取り組みをしていると思いますか？
- 気候危機や経済的不平等について、日本の大人たちがとるべきだと思う具体的な行動があれば、ここに書いてください。（自由回答）
- 気候危機や経済的不平等の課題について、あなたはすでに何か行動していますか？
- あなたが行っている活動について、具体的に教えてください（自由回答）
- あなたや子どもたちが気候変動や経済的不平等をより広く知ってもらうための活動を行う時に、大人たちからどのような支援があればいいと思いますか？
- あなたが住んでいる社会に最も影響を与えていると思う自然災害は何ですか？
- 気候変動や経済的不平等は、日本以外の国の子どもたちにも影響を与えていると思いますか？
- 気候危機と経済的不平等について、日本以外の国の大人がとるべきだと思う具体的な行動があれば、ここに書いてください。（自由回答）
- 気候変動と経済的不平等に対する責任の大きさは、国によって違いがあると思いますか？
- 気候変動と経済的不平等に関する問題について、どの国の責任が大きいと思いますか？
- 経済的不平等にについて教えてください。あなたの住んでいる地域には、どの程度の経済的不平等があると思いますか？
- あなたの住んでいる地域では、以下のどのグループの子どもたちが経済的な不平等の影響を特に受けていると思いますか？
- あなたの住んでいる地域における経済的不平等を問題だと思いますか？
- 気候変動や経済的不平等の影響を最も受ける子どもたちを支援するために、世界の国々はどのように協力したらよいと思いますか？（自由回答）

Save the Children

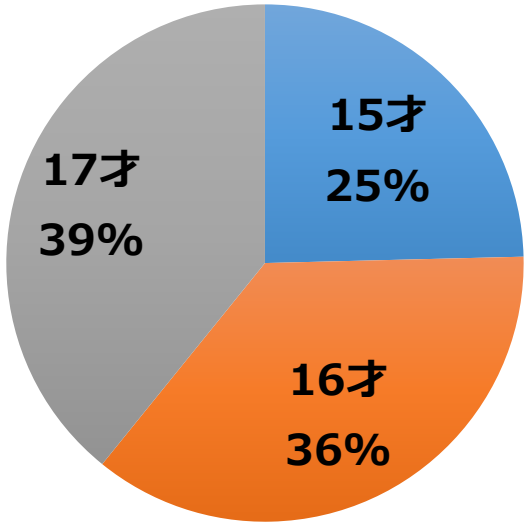
【回答者の属性①】 性別、年齢層、居住エリア

単一選択、n=1,085

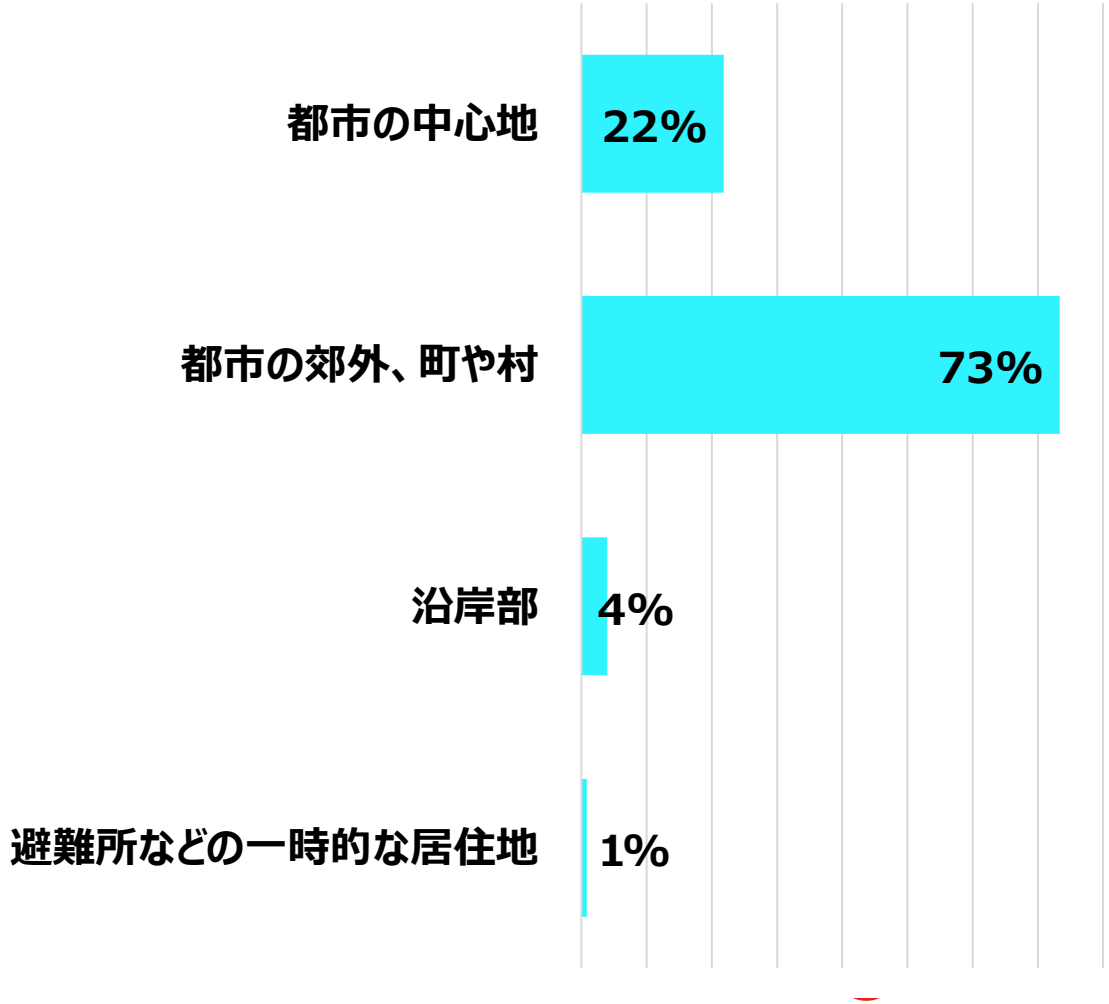
性別



年齢層



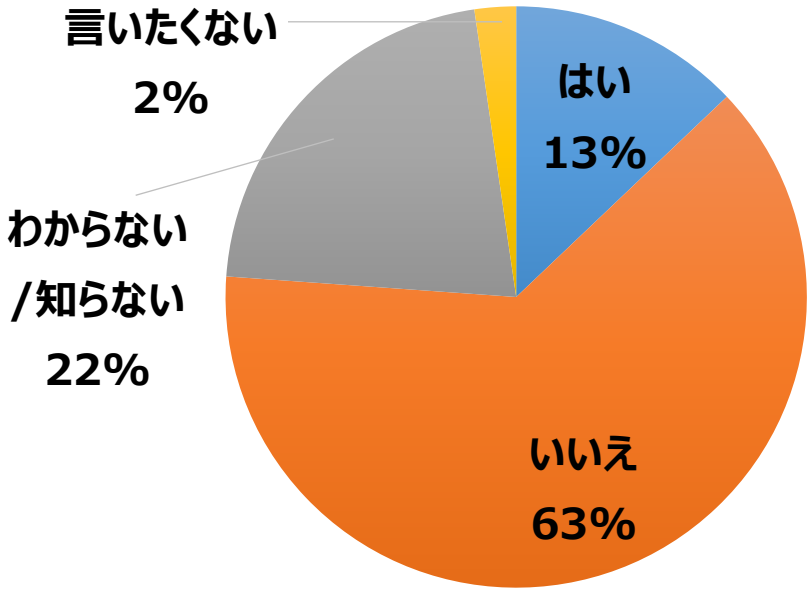
居住エリアの回答者数



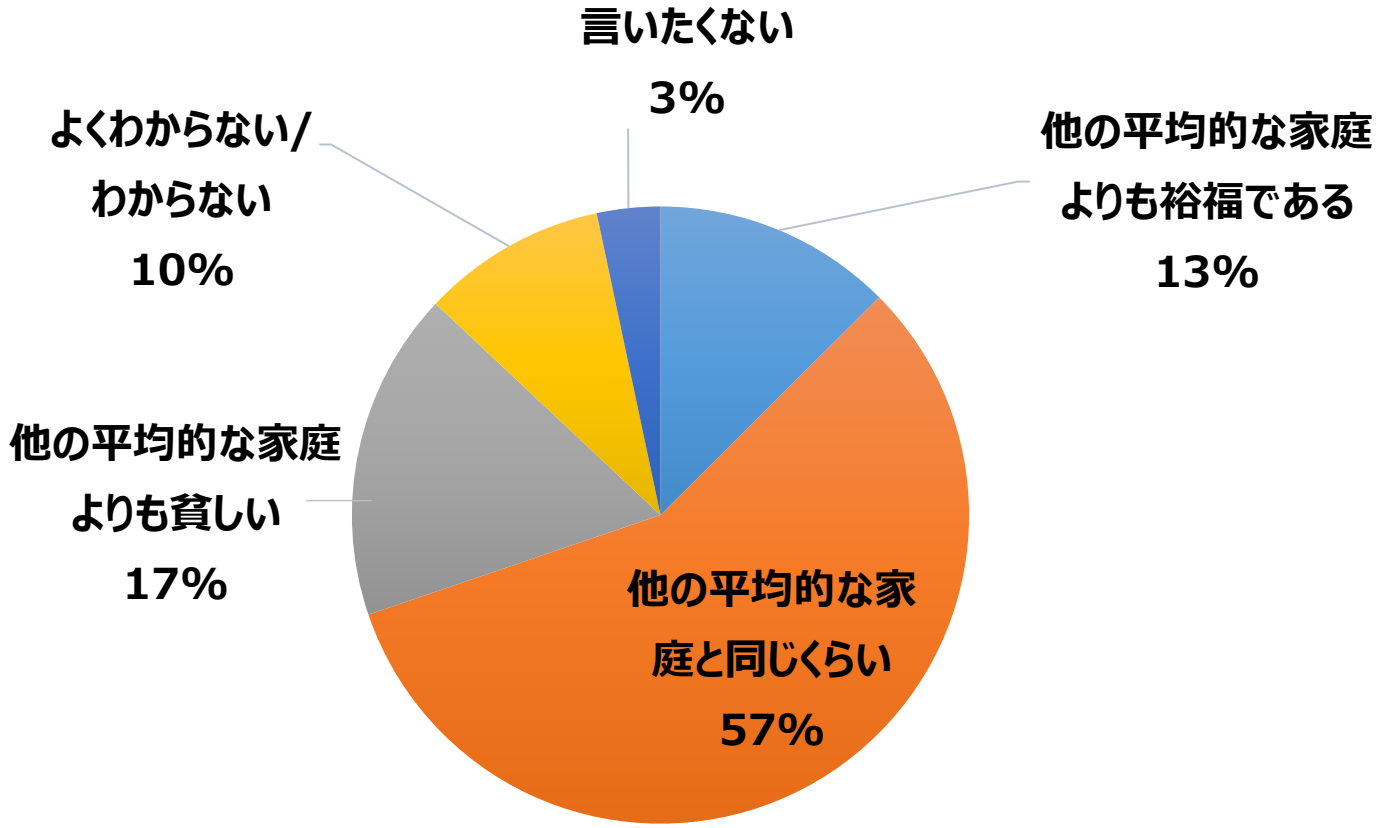
【回答者の属性②】障害の有無、裕福さに対する自覚

単一選択、n=1,085

自分に障害があると思うか



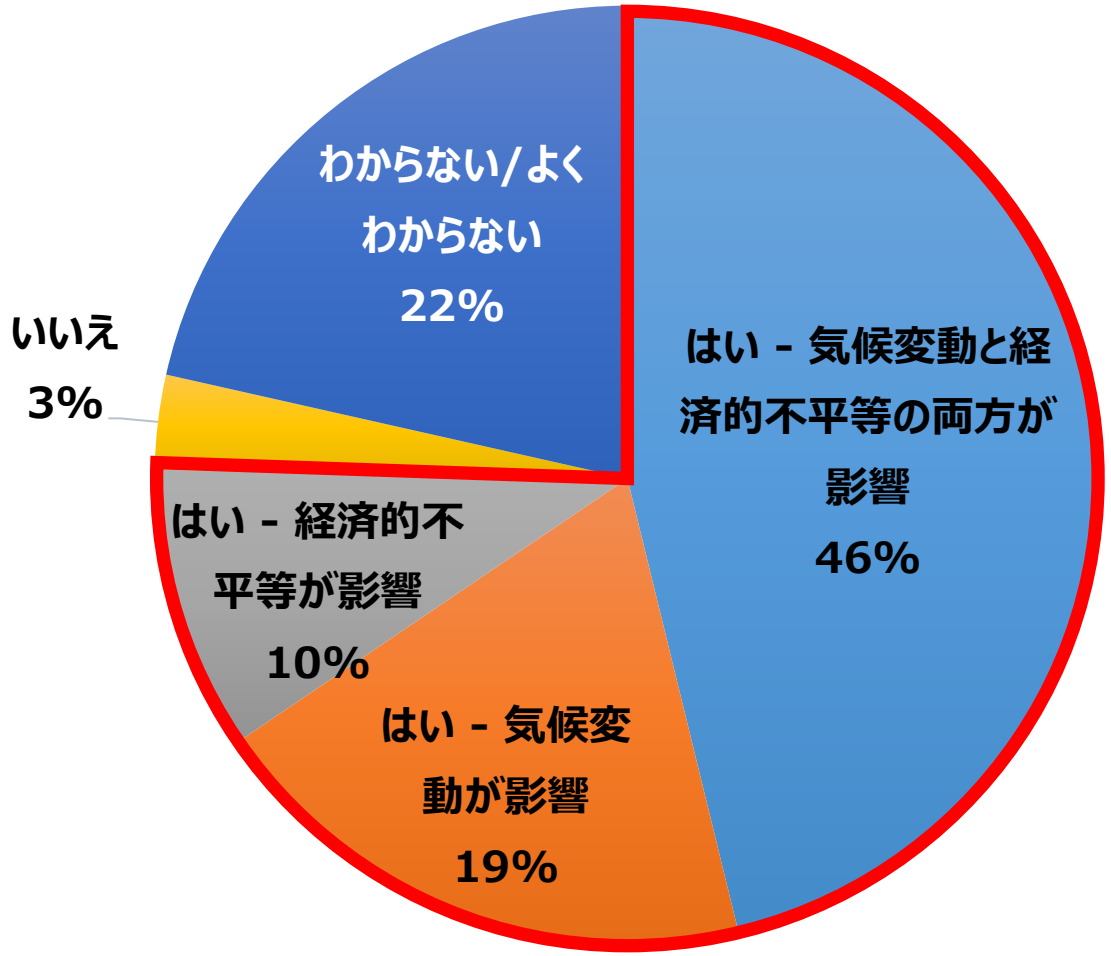
あなたの家庭は、あなたの住んでいる地域の他の家庭と比較すると裕福だと思うか



Save the Children

気候変動や経済的不平等が**あなたのまわりや国内の状況**に影響を与えていると感じますか？

単一選択、n=1,085

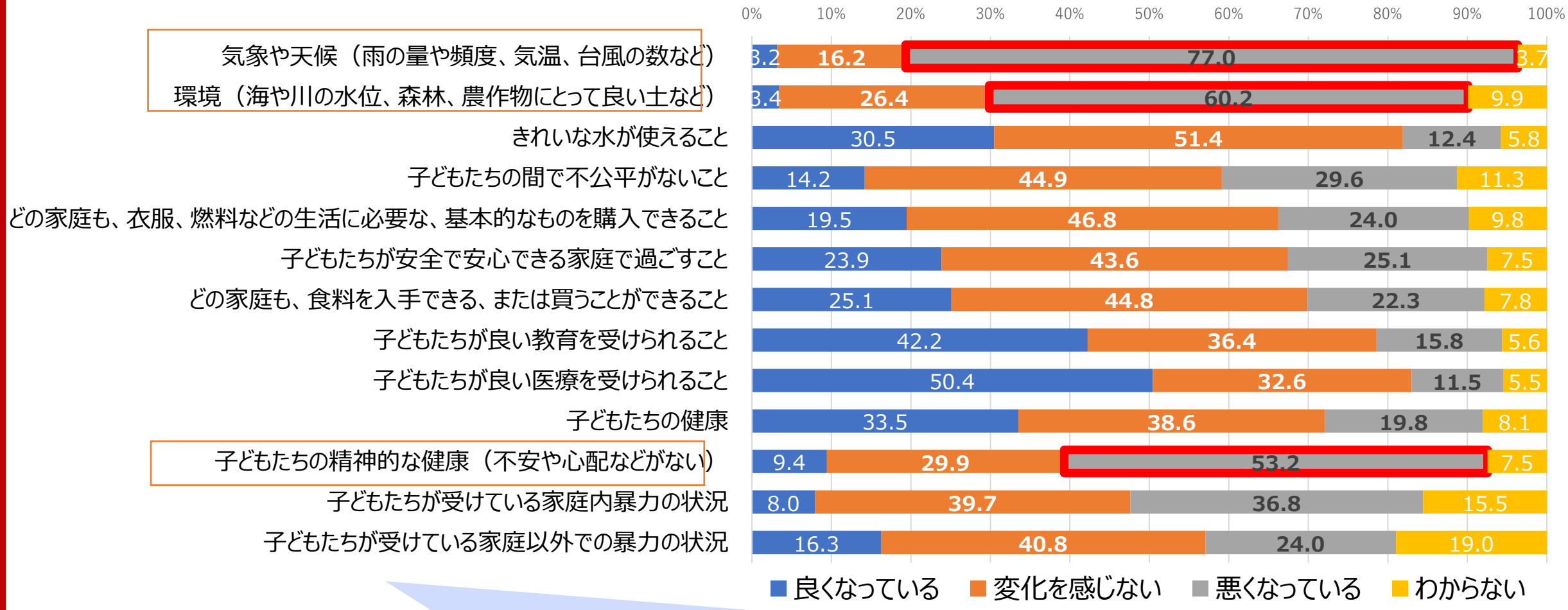


約4人に3人の子どもたち（約75%）が、気候変動と経済的不平等の両方、もしくはどちらかが**自分の周りや日本**に影響を与えていると答えている

Save the Children

あなたの周りでは、以下の状況はどのように変化していると感じますか？

それぞれ単一選択、n=1,085



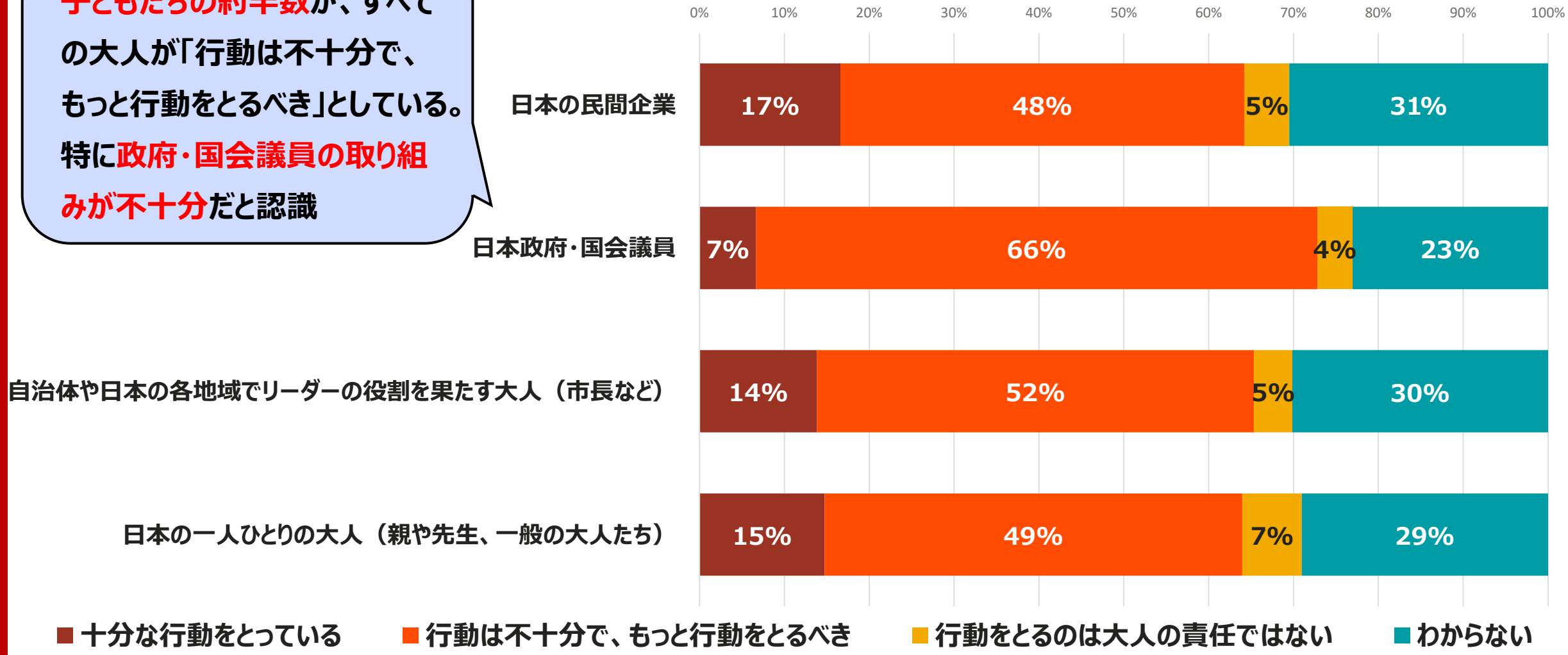
気候変動と経済的不平等が、**気候や環境、精神的な健康に悪影響を及ぼしている**と考える子どもが多い

Save the Children

日本において、以下の組織や大人たちは、気候変動や経済的不平等に対して十分な取り組みをしていると思いますか？

それぞれ単一選択、n=1,085

子どもたちの約半数が、すべての大人が「行動は不十分で、もっと行動をとるべき」としている。特に**政府・国会議員の取り組みが不十分**だと認識



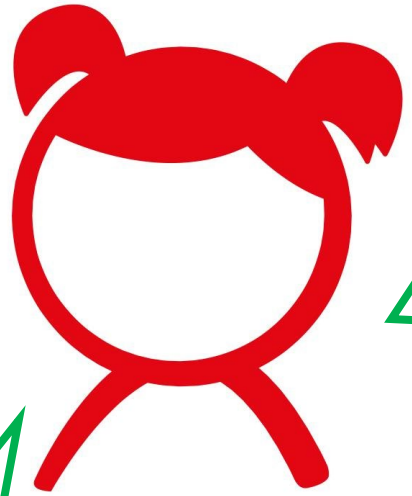
Save the Children

気候危機や経済的不平等について、日本の大人たちがとるべきだと思う具体的な行動

自由回答、一部抜粋

企業などは、物の効率を追求するあまり使える物も捨てたりするのはどうかと思う。使い捨ての時代はもうやめたほうがいい。ゴミを減らしたくても過包装だったりゴミを出すにも分別が大変だしゴミによってはお金を払わないと引き取ってくれない。こんな世の中は嫌だ。

子供やそれ以降の世代のことを考えて政策をしたり、もっと早い段階から子供が政治に関わったり世の中について考える機会を設けた方が良い



具体的に何をするか小さな子にもわかりやすいように示して欲しいなと感じました。自分たちもやるべきことは理解しているし、個人でも行動することはもちろんできるから地球の状態を良くするために活動してはいます。しかしそれがどの程度良くなっているのか目に見えてはまだ分からないし、個人が取り組んだ分また人間によって壊されてしまったらもったいないことだと思うので始めに書いた具体的な対策を全国民に示して欲しいと考えます。人間が起こしてきたことは必ず人間が直せるような対策をするべきだと思います。

仕組みはよく分かっていないけど、議員の人達の給料などを貧しい家庭に分けて欲しい。たまに議論などの場で居眠りしていたり、こんな人がリーダーで良いのかと思ってしまう。裏で頑張っているのかもしれないが、分からない。少し、日本のリーダー達に不満を感じる部分がある。税金を有効に使って欲しい。

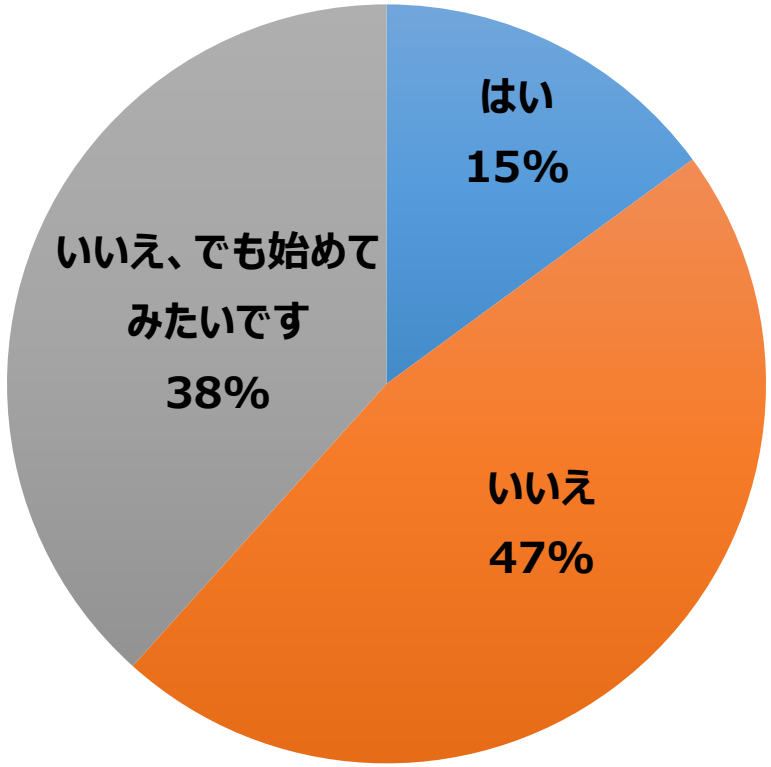
周りにいる一般の大人は気候危機や経済的不平等に対する危機感が薄い人が多いと思う。まず、これらについてもっと知る必要があると思う。

学費を完全に無料にすること。
子供の未来を考え、高校も義務教育にしたり全員が奨学金を返さなくても借りられるようにしたらいい

気候危機や経済的不平等の課題について、あなたはすでに何か行動していますか？

単一選択、n=1,085

すでに行動を起こしている子どもは多くないが、
はじめてみたいと考える子どもが4割近く存在



すでに「行動している」と答えた子どもが、具体的にとっている行動

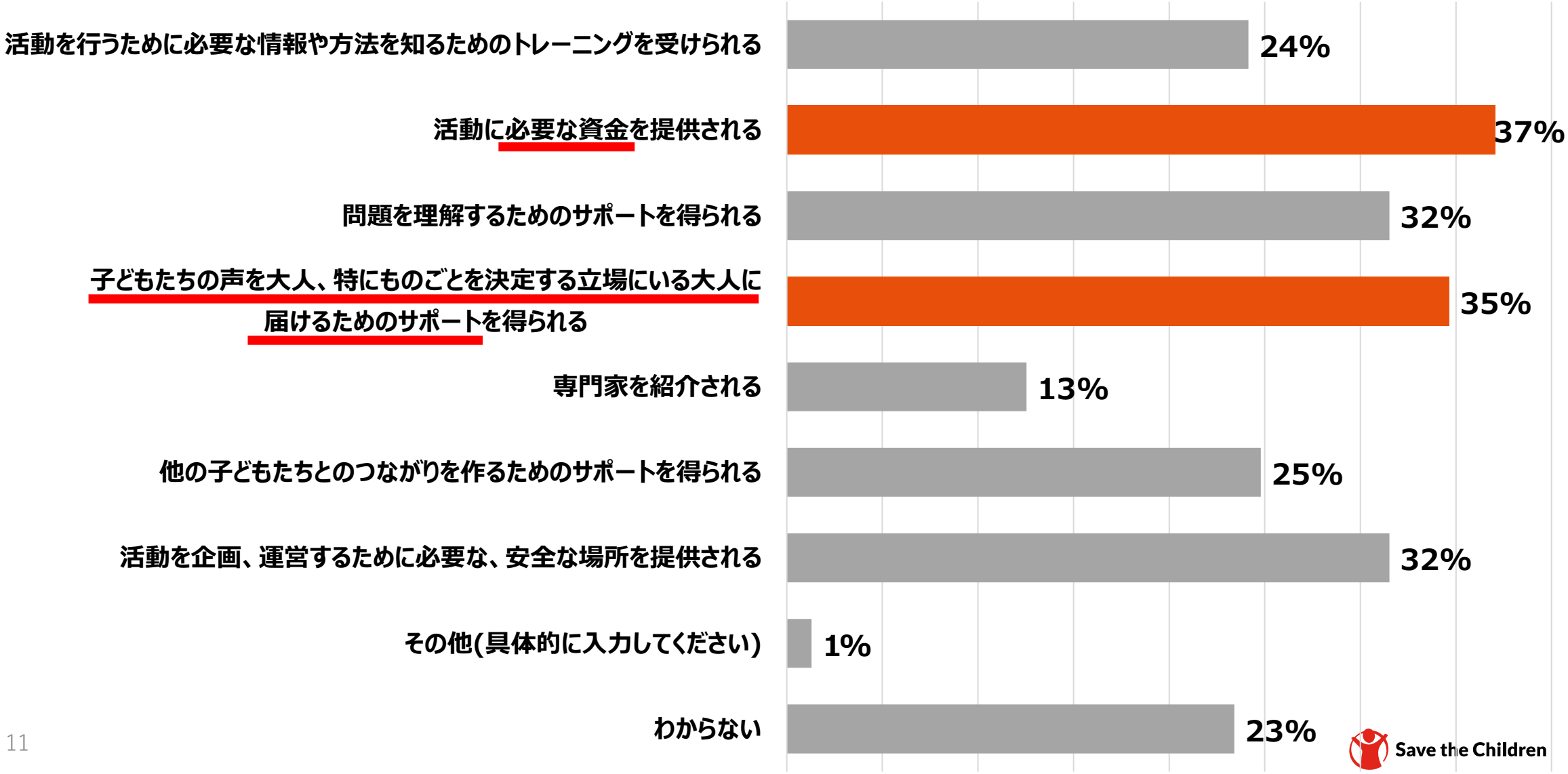
（一部抜粋）

- SDGsについて学ぶ、実践する
- ゴミを減らす、分別する
- 節電、節水
- リサイクル
- ボランティア活動
- 学校での活動（探求の授業での取り組み等）　など

Save the Children

あなたや子どもたちが気候変動や経済的不平等をより広く知ってもらうための活動を行う時に、大人たちからどのような支援があればいいと思いますか？

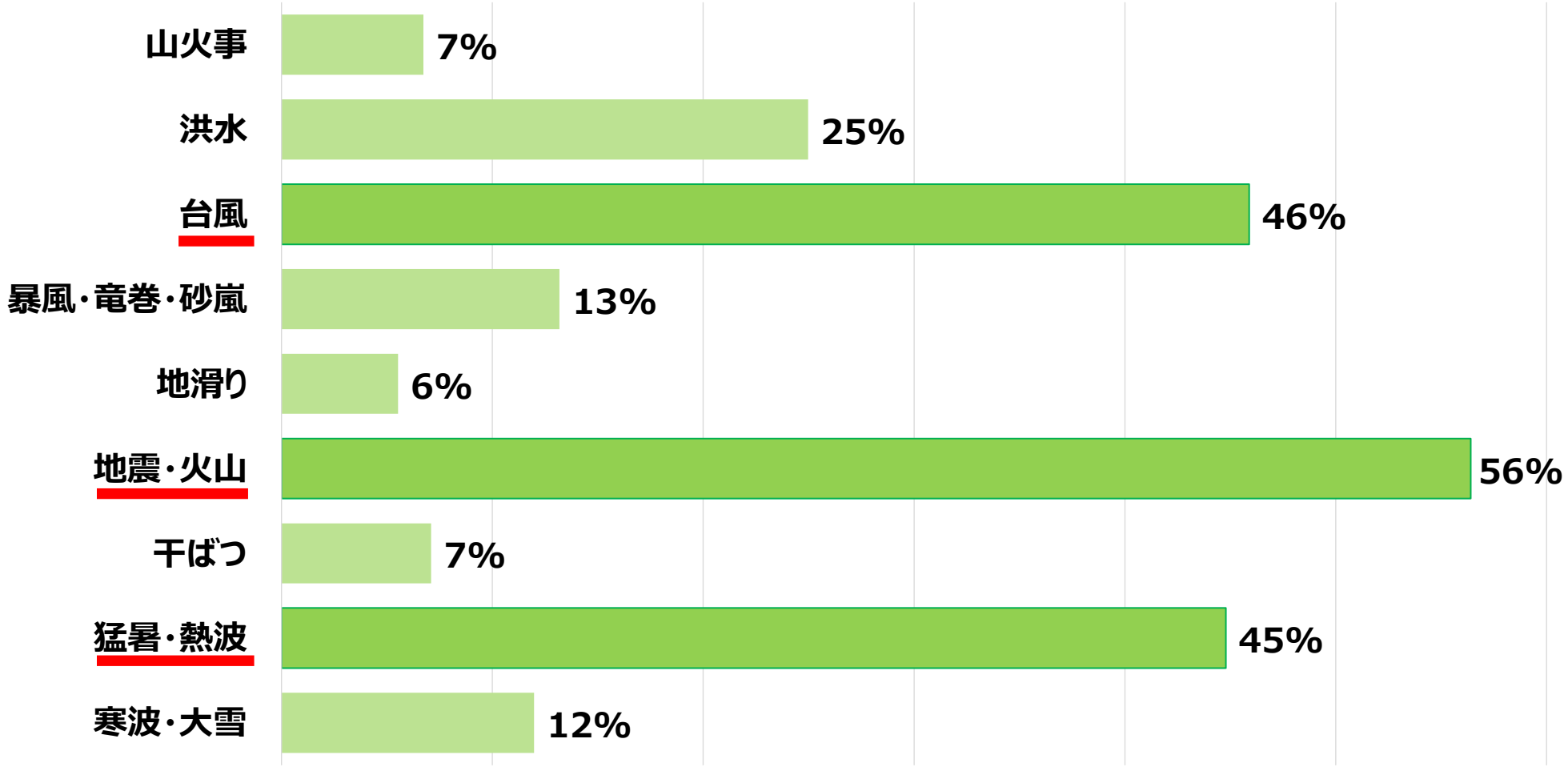
複数選択、n=1,085



Save the Children

あなたが住んでいる社会に最も影響を与えていると思う自然災害は何ですか？

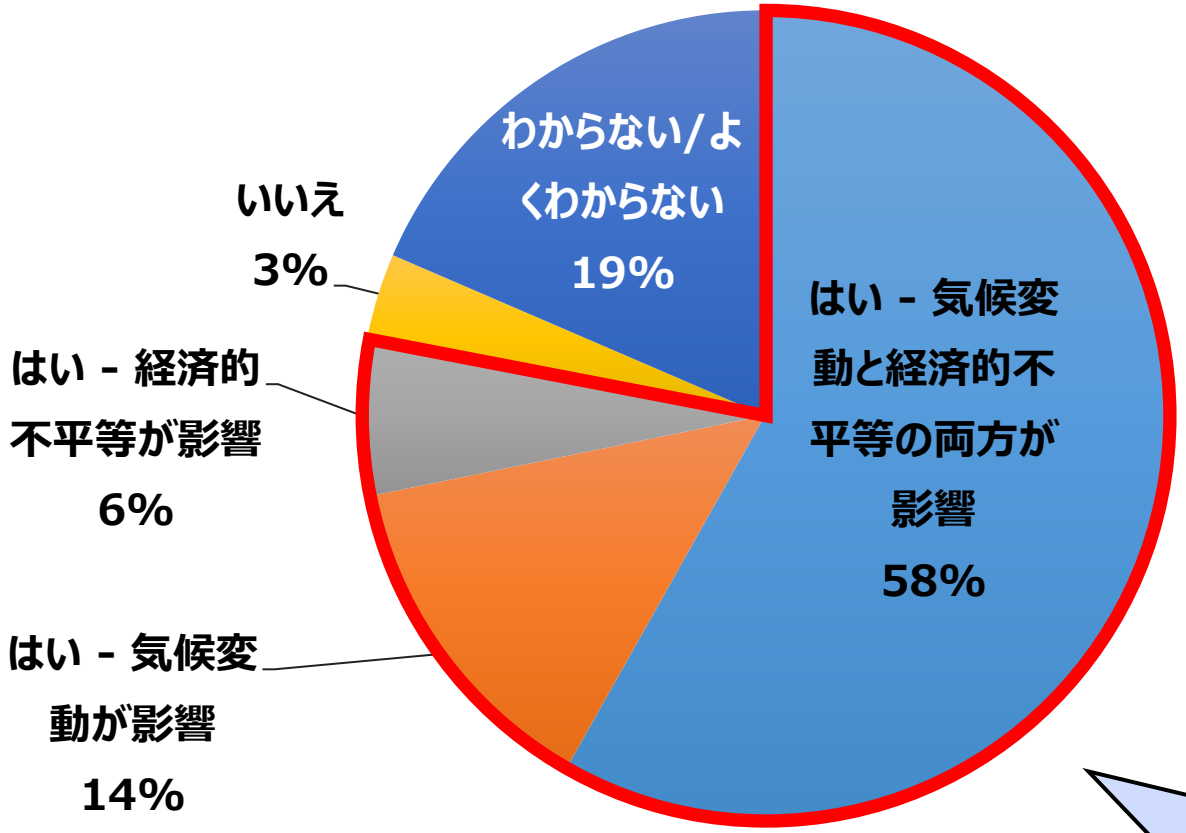
複数選択、n=1,085



Save the Children

気候変動や経済的不平等は、日本以外の国の子どもたちにも影響を与えていると思いますか？

単一選択、n=1,085



約4人に3人以上の子どもたち（約78%）が、気候変動と経済的不平等の両方、もしくはどちらかが**日本以外の国の子どもたち**に影響を与えていると答えている→ グローバルな課題だと認識

Save the Children

気候危機と経済的不平等について、日本以外の国の大人がとるべきだと思う具体的な行動

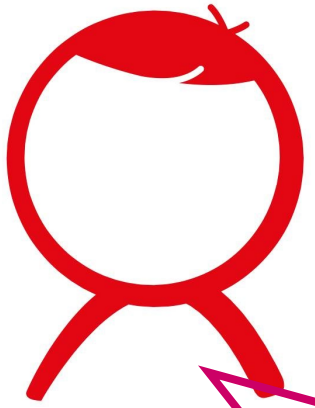
自由回答、一部抜粋

いらない戦争をやめること

もっと国同士で仲良くなって全員で対策をして欲しい

経済や発展を優先し、将来の世代に問題を後回しにするのではなく、この世代で取り組んでほしい。今が取り組める最後の世代かもしれないから。次の世代の時に手遅れということがないようにしてほしい。

もうしているかもしれないけど、世界で気候変動について議論して、何か取り組みをして欲しい。気候変動が課題だと言っているのはよく聞くけど、実際に止めるための活動をしているか分からない。でもこれは本当に難しい課題だと思う。エアコンの使用を控えるとなると、熱中症などで命の危険が出てくるし、発電の仕方を変えるとなっても、原子力は効率的ではあるけど、危険だし、難しい。でもとりあえず、電気自動車をもっと普及させたい。



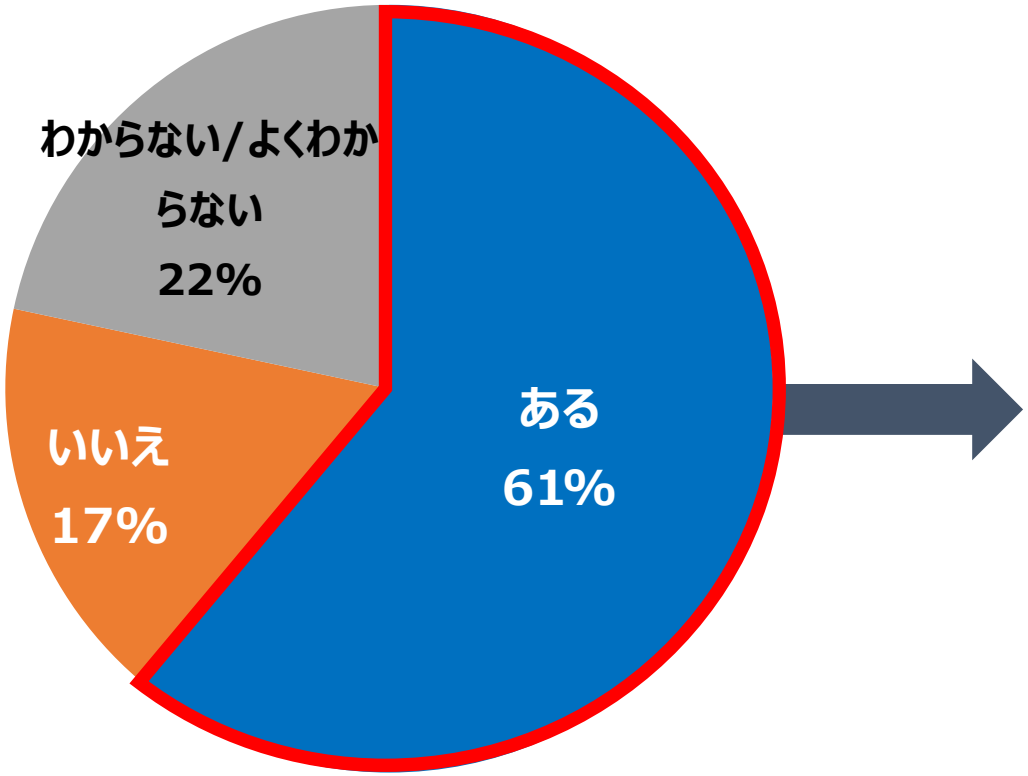
気候変動により経済的不平等を被っているのは発展途上国が多いように感じるので、先進国は自分達がしていることが全くもって悪いことをしていない遠い国の人々が理不尽に苦しい生活をしているという現状に目を向け対処法を急いで作る必要があると思う。

他の国の政府が国民の生活を安定にするための資金を他に使うのではなくそこに使って欲しい

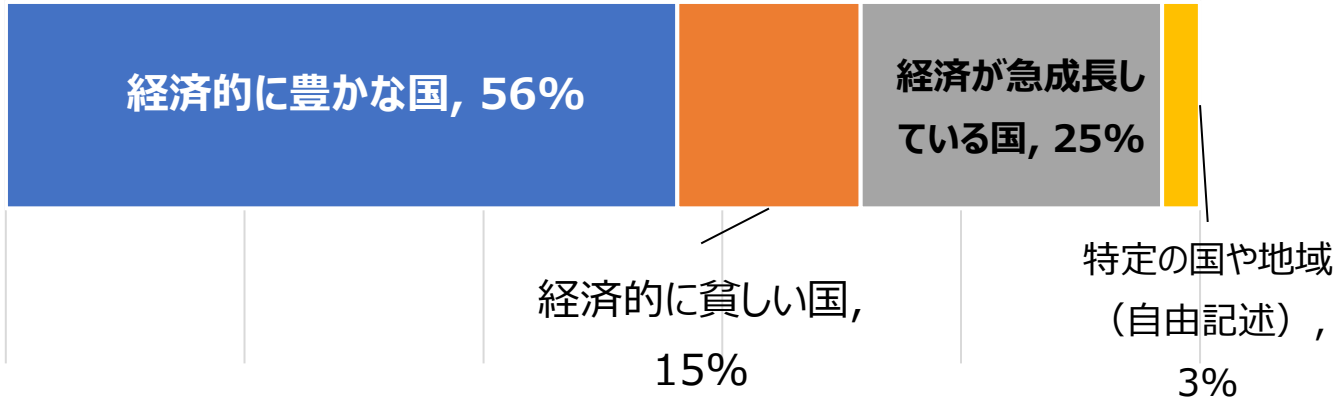
発展途上国はもっと子供たちに教育の場を提供すべきだと思う。

気候変動と経済的不平等に対する責任の大きさは、国によって違いがあると思いますか？

単一選択、n=1,085



「ある」と答えた子どもに対する質問
気候変動と経済的不平等に関する問題について、どの国の責任が大きいと思いますか？（単一選択、n=665）

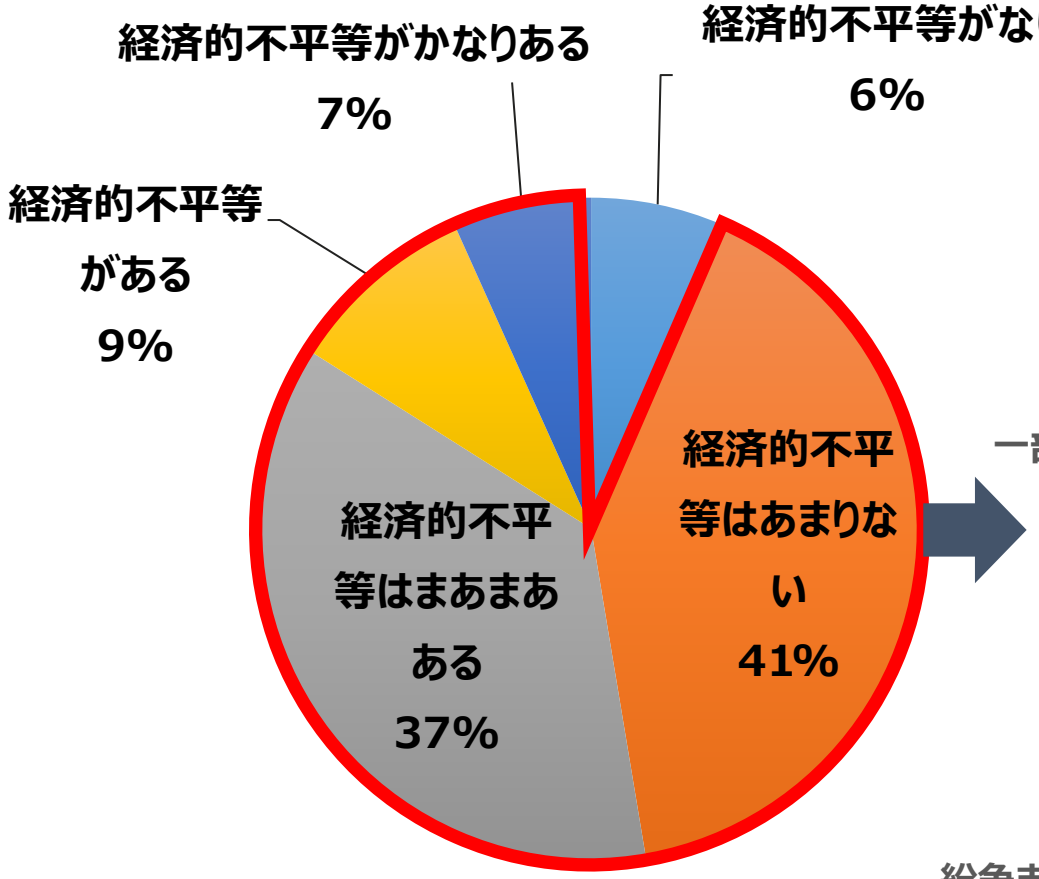


約5人に3人の子どもたちが、国によって責任の大きさが違うと考えており、
半数以上が「経済的に豊かな国」、4分の１が「経済が急成長している国」の責任が大きいと回答

Save the Children

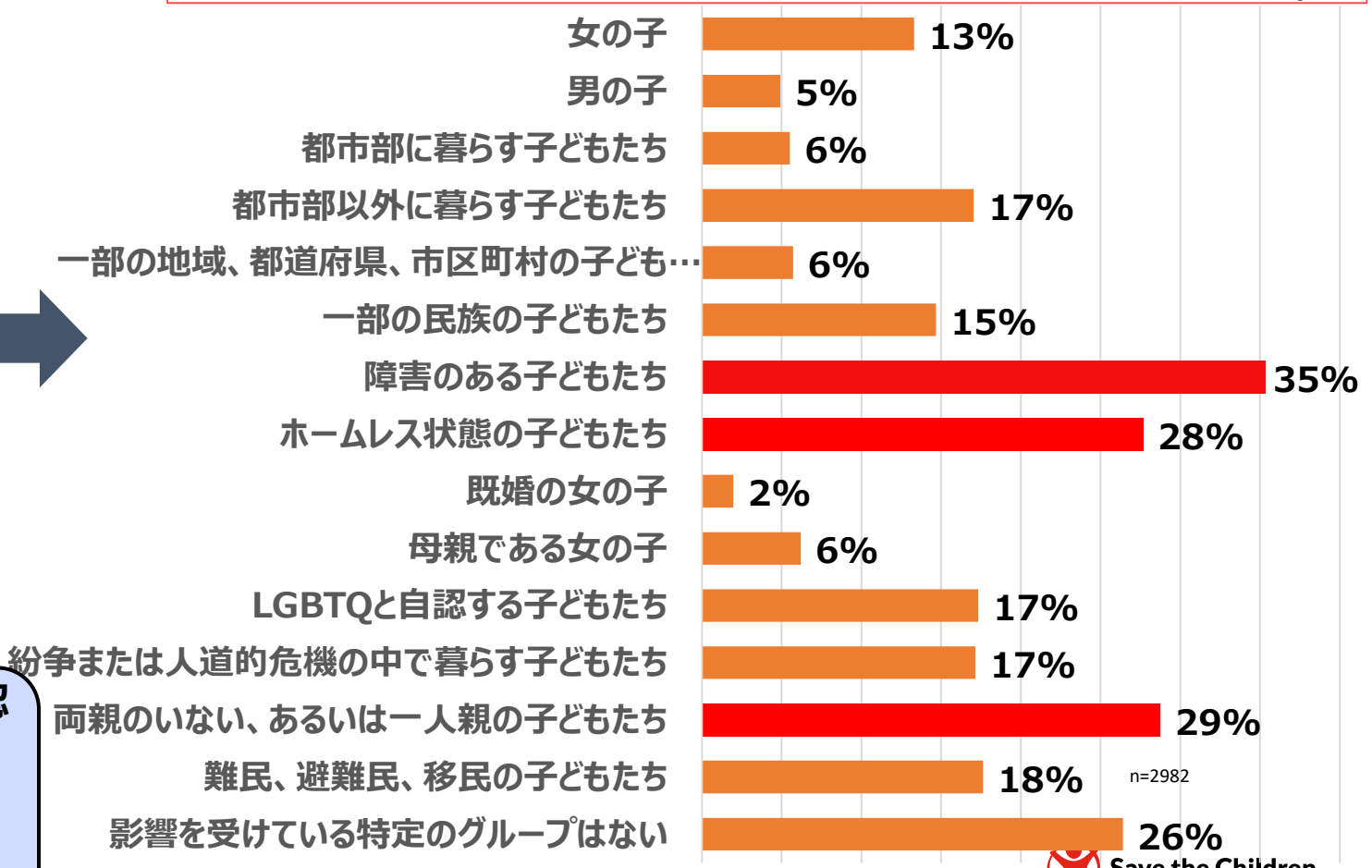
あなたの住んでいる地域には、どの程度の経済的不平等があると思いますか？

単一選択、n=1,085



94%の子どもがなんらかの経済的不平等があると認識。
特に障害のある子ども、ホームレスの子ども、両親のいない／一人親の子どもが特に影響を受けていると考えている

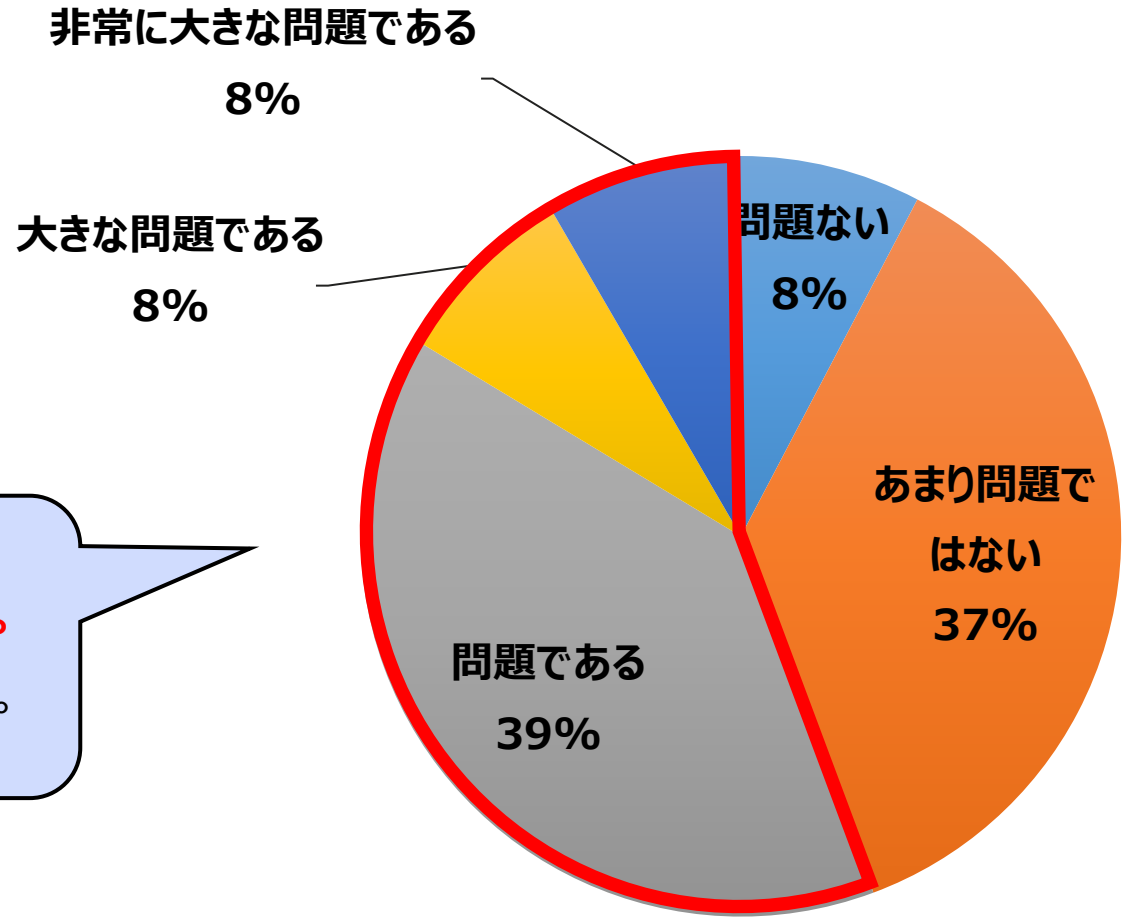
「経済的不平等がない」と答えた子ども**以外**への質問
あなたの住んでいる地域では、以下のどのグループの子どもたちが経済的な不平等の影響を特に受けていると思いますか？（最大5つ選択、n=1015）



Save the Children

あなたの住んでいる地域における経済的不平等を問題だと思いますか？

単一選択、n=1,085



経済的不平等を問題と感じるか否かは**半々。**
→約56%の子どもが問題であると答えている。

Save the Children

気候変動や経済的不平等の影響を最も受ける子どもたちを支援するために、世界の国々はどのように協力したらよいと思いますか？

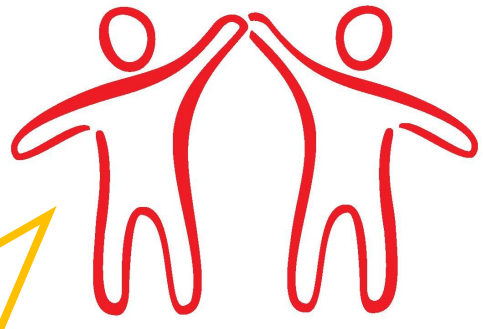
自由回答、一部抜粋

いくら国同士が不仲だとしても、手を貸すことは必要だと思う。

現実を知るという努力をしたほうがいいと思います。聞いて感じるものと実際に見て感じるものは全くとまではいかないけれど違うものだからです。

利益だけを考えるのではなく、競争ばかりをするのではなく、様々な考えがあっても、地球を、明るい未来を守るために手を取り合ったらいいと思う。そうすれば、自然と国や民族、宗教や性別、障害や経済的事情などを超えて、みんなが協力できる世界になっていくと思う。協力すればするほど、新しいいい技術が生まれたり、科学も発展すると思う。

SDGsのように世界で問題を定め問題に対し具体的な目標を決めて世界各国で目標達成に向けて動くこと。自分たちの国だけでやるのではなく世界中でやる事で他の国にも見られているという意識が広まり解決に向かうと思う。



話を聞くこと

それぞれの国がお金を出し合い、定期的な話し合いを重ねながら、対策を立てていくこと。また、今世界はどんな状態なのか、これを国民に、全世界の人たちに伝えると言うことをしていくべきである。

影響を受けている子供たちの声をちゃんと聞き、受け止め、その声に応える行動をちゃんととる。(聞くだけにしない)

Save the Children

【まとめ】 気候変動と経済的不平等に関する子どもアンケート

【気候変動・経済的不平等に関する子どもたちの問題意識は高い】

- ✓ 気候変動と経済的不平等は、気候や環境、精神的な健康に悪影響を及ぼしていると考える子どもが多い
- ✓ 約4人に3人の子どもたち（約75%）が、気候変動と経済的不平等の両方、もしくはどちらかが自分の周りや日本に影響を与えていると回答。
- ✓ 気候変動と経済的不平等はグローバルな課題としても認識されている。約4人に3人以上の子どもたち（約78%）が、気候変動と経済的不平等の両方、もしくはどちらかが日本以外の国の子どもたちに影響を与えていると回答。

【気候変動・経済的不平等に関して、子どもたちは行動を起こすことに決して後ろ向きではない】

- ✓ すでに行動を起こしている子どもは多くないが、はじめてみたいと考える子どもが4割近くいる

【気候変動・経済的不平等に関する大人の行動は不十分と認識】

子どもたちの約半数が、すべての大人が「行動は不十分で、もっと行動をとるべき」と回答。
特に政府・国会議員の取り組みが不十分だと認識されている。

【気候変動の責任】

約5人に3人の子どもたちが、国によって責任の大きさが違うと考えており、半数以上が「経済的に豊かな国」、4分の１が「経済が急成長している国」の責任が大きいと回答。

【経済的不平等の影響】

94%の子どもがなんらかの経済的不平等があると認識。
特に障害のある子ども、ホームレスの子ども、両親のいない／一人親の子どもが影響を受けていると考えている。
経済的不平等を問題と感じるか否かは半々であり、約56%の子どもが問題であると答えている。